

避難訓練を振り返って



深瀬自主防災会

避難訓練の道のり

2023年6月11日（日）実施

- | | | |
|---|-------------------|--------|
| ① | 地域での話し合い（連絡網等の確認） | 4月下旬 |
| ② | 市及び県からのサポート | 4月～実施後 |
| ③ | 資機材（防災バッグ）の調達 | 4月25日 |
| ④ | 住民への実施周知 | 5月下旬 |
| ⑤ | 避難訓練の実施 | 6月11日 |
| ⑥ | 実施後の回覧 | 6月下旬 |
| ⑦ | まとめ | |

① 地域での話し合い（連絡網等の確認）

- 避難訓練に必要なとなる連絡網の現状確認
⇒地域内に常会が5つあるため、それぞれ確認を実施した。
- 避難先の設定
⇒指定緊急避難場所である甲田文化センターミュージズは遠方であることから、地域内の集会所である『深瀬コミュニティ会館』を集合箇所とした。

② 市及び県からのサポート

○市からのサポート

- ・ 避難訓練に向けた包括的な相談
- ・ 回覧用チラシ作り（訓練実施後）
- ・ 補助金の活用

○県からのサポート

- ・ 地域防災タイムラインの作成
- ・ 県防災アドバイザーの派遣



③ 資機材（防災バッグ）の調達

- ・ 県の補助金を活用し、避難訓練参加世帯に1つずつ、防災バッグを配付した。

⇒ 避難訓練時に実際に背負って来てもらうことで、災害時に備え「何をどの程度準備しておくか」について、住民各々が考えるきっかけづくりにもなった。



④ 住民への実施周知

地域ぐるみの避難訓練を実施するため、チラシを作成し住民の皆さんへ配布した。

※作成のコツ

実施目的やタイムスケジュールを記載し、住民の皆さんが内容を理解しやすくなるよう心掛けた。

深瀬在住のすべての皆様へ

深瀬自主防災会会長 津村孝則



最近、大きな地震・台風などの災害は珍しくなくなり、たびたび死傷者が出るほどの事例が起こっています。しかし、自然災害の発生そのものは防げないため、私たちは限られた範囲で対策を講じなければなりません。私たちが住んでいる深瀬地域は、江の川・火の谷川・塩谷川にはさまれ、溜池もあり洪水浸水想定地域、急傾斜地・土石流警戒区内にあることを再認識し、まず避難することが大切です。

自分たちの地域は自分たちで守ることが求められるため、今回は、深瀬自主防災会がきて、はじめての一斉避難訓練を行います。地域の皆さまぜひ参加していただき、少しでも避難のしかた、連絡方法など確認したり、知っていただきたいと思います。

避難訓練実施のお知らせ

- 実施目的** 今回の避難訓練は、災害時に、深瀬の地域住民がお互いに連携し、高齢者をはじめすべての人が円滑に避難活動が行え犠牲者を出さないようにするため、避難行動の習得と連絡網の確立など基本的な知識の習得を図ることを目的に実施します。
- 実施日時** 令和5年6月11日(日) 午前10時～12時
- 避難場所** 深瀬コミュニティ会館
- 参加者** 深瀬地域すべての住民
《参考》深瀬地域住民 世帯数： 世帯、総数： 名
- 想定災害** 土砂災害、河川の氾濫
安芸高田市に急状降水接近
午前9時00分 安芸高田市警戒レベル3発令
午前10時 安芸高田市警戒レベル4発令
- 避難手段** 今回は、深瀬一斉避難をし、避難場所を深瀬コミュニティ会館とします。
原則「徒歩」、遠方は自家用車も可
- タイムスケジュール**

10:00～	防災会長から各地域の防災長に避難指示をだします。
10:05～	各防災長は、地域連絡網、個別訪問等により避難指示を伝えます。
10:05～	住民の方は、連絡を受けて避難行動を開始します。
11:00	避難完了
11:00～	各地域に分かれ避難行動の気づき等反省をします。
11:40～	講評（市またはアドバナー）
11:55～12:00	防災会長講評・挨拶 解散



あなたの避難がみんなの命を救う！（広島県）

⑤

避難訓練の実施

2023年6月11日（日）午前10時～ 深瀬コミュニティ会館



防災会長から各地域の防災長（常会長）に避難訓練開始の連絡をしました。
連絡を受けた防災長（常会長）は、常会の連絡網を活用して、各世帯に避難を呼びかける連絡を回しました。



各常会内での連絡を受け、徒歩や車で避難されました。

避難訓練を実施することで、連絡網が機能することが確認できました。

今回の避難訓練に向け購入した防災バッグを皆さん背負ってきてくださいました。



当日は59名もの住民の
参加がありました。

避難訓練を振り返り、気づきや課題を話し合いました。(常会単位)



各地区ごとに振り返りを発表し、県防災アドバイザーから今後に向けての助言をいただきました。

⑥ 実施後の回覧

避難訓練実施後、実施報告としてチラシを各戸配付した。

参加された方も、参加できなかった方も、チラシを見て、防災意識を高めることが出来たと感じる。

※チラシや回覧物の作成にあたっては、市が協力してくれた。

避難訓練を実施しました！！

6月11日(日)、深瀬地区自主防災会主催で、地域の避難訓練を実施しました。近年の気象災害は激甚化の傾向にあり、いつどこで大きな災害が起こるかわかりません。過去には、本市においても尊い人命が失われるケースが生じています。

そのような状況の中で、深瀬地区からは**誰ひとりとして命を失う方を出さないよう**、このような訓練を実施することが重要だと考えています。

今回は59名もの参加をいただき、皆さんの防災に対する意識の高さを感じました。また、県の防災アドバイザーである西田井さんや市の職員にも訓練に参加してもらい、とても有意義な取組みになったと感じています。

【防災アドバイザーの話のポイント】

- 1 非常時の連絡先が正しいかももう1度確認！
- 2 安全な近所の家へ逃げることも避難！
- 3 個人で避難する際は自主防災会の方へ一報を！
- 4 浸水で道が通れなくなる前に早めに避難！
- 5 平時から災害が起こったときにどうするか、地域で話し合っておくことが大事！



↑西田井 恭子 防災アドバイザー



←避難を呼びかける津村防災会長

深瀬地区では、警戒レベル4「避難指示」が発表されたら、防災会長から各地区(常会)の防災会長へ連絡し、地域の皆さんへ避難の呼びかけを行います。



←避難の呼びかけにより実際に避難をされている地域の皆さん

自主防災会で購入した防災リュックを背負って避難訓練をしていただきました。これを機に、防災リュックに何をに入れておくか、それぞれ考えてみてください。



↑地区ごとの振り返りを行いました

しっかりと話し合いができ、地域の防災について真剣に考えることができました。

深瀬地区自主防災会 発行

⑦ まとめ

実際に連絡網を用いて避難訓練を実施することで・・・

- 👉 連絡網が機能することが確認できた。
- 👉 地域ぐるみで防災について考えることができた。
- 👉 地域住民のコミュニケーションが取れた。

「いざ」という時、普段の地域のつながりが地域の皆さんの命を守ることにつながる。

皆さんの地域でも、是非避難訓練をしてみてください！